株式会社 UKCホールディングス 平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月９日

上場会社名	株式会社ＵＫＣホールディングス		上場取引所　東
コード番号	3156	ＵＲＬ　http://www.ukcgroup.com/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）福寿　幸男	
問合せ先責任者	（役職名）取締役　経理部門、財務部、総務人事部門担当	（氏名）田口　雅章	ＴＥＬ　03（3491）6575
四半期報告書提出予定日	平成24年11月12日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有

四半期決算説明会開催の有無　　：　有　（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	144,772	4.3	4,371	100.3	3,769	119.2	1,978	168.5
24年３月期第２四半期	138,745	△6.4	2,182	△8.5	1,719	△16.4	736	△35.1

（注）包括利益　　25年３月期第２四半期　　1,655百万円　（－%）　　24年３月期第２四半期　　△268百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	125.99	－
24年３月期第２四半期	46.92	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第２四半期	117,915	40,712	34.2	2,572.31
24年３月期	104,385	39,671	37.7	2,505.07

（参考）自己資本　　25年３月期第２四半期　　40,383百万円　　24年３月期　　39,328百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	35.00	35.00
25年３月期	－	0.00			
25年３月期（予想）			－	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	10.9	8,000	48.4	7,200	43.8	3,900	43.2	248.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　有
③　会計上の見積りの変更　：　有
④　修正再表示　：　無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	15,700,021株	24年３月期	15,700,021株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	648株	24年３月期	608株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	15,699,396株	24年３月期２Ｑ	15,699,661株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ホームページに掲載いたします。なお、当社は、平成24年11月30日（金）に機関投資家、証券アナリスト向けに説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要等を背景に緩やかな回復基調にありましたが、後半に入り、世界景気の減速等を背景として回復の動きに足踏みがみられるようになりました。先行きにつきましても、欧州の金融不安やアジア情勢の不透明感により、予断を許さない状況です。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましても、スマートフォンやタブレット端末等の市場は拡大しておりますが、薄型テレビを中心としたデジタル家電の国内販売は依然として低調で、本格的な回復に至っておりません。

このような状況の下、当社グループにおきましては、中核事業であるソニー製半導体・電子部品の販売事業をさらに強化するとともに、ＥＭＳ（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大に取り組んでまいりました。また、オペレーション効率の抜本的な改善に向けて、希望退職者の募集を行いました。

平成23年７月に実施した子会社事業の譲渡に伴う減収により、前年同期と比較すると売上高は微増に留まりましたが、高付加価値製品の売上比率が拡大したことにより、営業利益・経常利益・四半期純利益は大きく伸長いたしました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は 1,447 億 72 百万円（前年同期比 4.3%増）、営業利益は 43 億 71 百万円（前年同期比 100.3%増）、経常利益は 37 億 69 百万円（前年同期比 119.2%増）、四半期純利益は 19 億 78 百万円（前年同期比 168.5%増）となりました。なお、上述の希望退職者募集に伴う特別損失として、４ 億 97 百万円を計上しております。

セグメント別の業績は次の通りです。

・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、平成23年７月１日付けで当社連結子会社である株式会社ユニーデバイス（現 株式会社ＵＷテクノロジーズ）が営んでいた事業を丸文セミコン株式会社へ譲渡したことに伴う減収をデジタルスチルカメラやスマートフォン向け製品の増収がカバーし、売上高は微増となりました。その一方で、スマートフォン向け製品の販売や液晶モジュールの基板実装受託（ＥＭＳ事業）等の比較的付加価値の高い事業が伸長した結果、セグメント利益は大幅に増加いたしました。

以上の結果、売上高は 1,364 億 85 百万円（前年同期比 4.7%増）、セグメント利益は 50 億 37 百万円（前年同期比 65.1%増）となりました。

・電子機器事業

電子機器事業におきましては、顧客の設備投資が依然として低調なため、売上高は減少いたしました。その一方で、付加価値の高いシステム製品の販売が伸長したことにより、セグメント利益は黒字に転換いたしました。

以上の結果、売上高は 72 億 68 百万円（前年同期比 2.5%減）、セグメント利益は 95 百万円（前年同期は 64 百万円の損失）となりました。

・システム機器事業

非接触ＩＣカード関連事業におきましては、事業環境は依然として厳しいものの、デジタルサイネージや電子マネー関連ビジネスに活性化の兆しがみえております。また、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、試験数や太陽電池関連等の新規案件の増加に伴い、業績も比較的好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は 10 億 19 百万円（前年同期比 10.4%増）、セグメント利益は １億 18 百万円（前年同期比 91.2%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して 135 億 30 百万円増加し、1,179 億 15 百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加 128 億 36 百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して 124 億 88 百万円増加し、772 億 ３ 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加 72 億 46 百万円、短期借入金の増加 38 億 57 百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して 10 億 41 百万円増加し、407 億 12 百万円となりました。これは主に、四半期純利益 19 億 78 百万円、利益剰余金からの配当 ５ 億 49 百万円、為替換算調整勘定の減少 １億 30 百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額 １ 億 95 百万円、少数株主持分の減少 14 百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、74 億 54 百万円（前年同期は 21 億 90 百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（32 億 41 百万円）、売上債権の増加（135 億 6 百万円）、たな卸資産の増加（ 25 億 35 百万円）、仕入債務の増加（ 78 億 83 百万円）及び法人税等の支払額（ 14 億 39 百万円）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、 12 億 61 百万円（前年同期は 58 億 33 百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（ 3 億 79 百万円）、定期預金の払戻による収入（ 6 億 60 百万円）と預入による支出（ 13 億 94 百万円）との差額、及び子会社株式の取得による支出（ 1 億 0 百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、 57 億 21 百万円（前年同期は 16 億 2 百万円の使用）となりました。これは主に、運転資金のための短期借入金の純増加（ 44 億 86 百万円）、長期借入れによる収入（ 20 億 66 百万円）、長期借入金の返済による支出（ 2 億 23 百万円）及び配当金の支払額（ 5 億 49 百万円）によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では平成24年９月20日発表の予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

従来、税金費用については、主に当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しておりましたが、四半期連結累計期間の税金費用をより適切に計算することを目的として、第１四半期連結累計期間より年度決算と同様の原則的な会計処理に変更しております。なお、遡及調整を行った場合の影響が軽微なため前第２四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,925	15,253
受取手形及び売掛金	61,015	73,851
商品及び製品	16,081	18,385
仕掛品	352	367
原材料及び貯蔵品	458	521
その他	3,729	4,270
貸倒引当金	△101	△125
流動資産合計	99,461	112,523
固定資産		
有形固定資産	1,787	2,014
無形固定資産	300	435
投資その他の資産		
投資有価証券	1,803	1,899
その他	1,209	1,213
貸倒引当金	△177	△171
投資その他の資産合計	2,835	2,941
固定資産合計	4,923	5,391
資産合計	104,385	117,915
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,837	46,084
短期借入金	14,817	18,674
未払法人税等	1,492	1,298
賞与引当金	527	430
その他	2,930	4,048
流動負債合計	58,605	70,536
固定負債		
長期借入金	4,865	5,472
退職給付引当金	588	609
役員退職慰労引当金	34	35
その他	620	548
固定負債合計	6,108	6,666
負債合計	64,714	77,203

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	30,061	31,313
自己株式	△0	△0
株主資本合計	40,787	42,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	152
為替換算調整勘定	△1,676	△1,807
その他の包括利益累計額合計	△1,459	△1,655
少数株主持分	342	328
純資産合計	39,671	40,712
負債純資産合計	104,385	117,915

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	138,745	144,772
売上原価	130,794	135,100
売上総利益	7,951	9,672
販売費及び一般管理費	5,769	5,301
営業利益	2,182	4,371
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	28	20
仕入割引	59	3
受取手数料	41	0
その他	64	74
営業外収益合計	202	113
営業外費用		
支払利息	132	150
売上債権売却損	8	21
為替差損	504	530
その他	18	11
営業外費用合計	665	715
経常利益	1,719	3,769
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	515	－
負ののれん発生益	29	－
その他	0	－
特別利益合計	545	1
特別損失		
固定資産処分損	6	6
減損損失	4	－
投資有価証券評価損	9	20
事業譲渡損	110	－
退職特別加算金	94	497
厚生年金基金脱退特別掛金	481	－
その他	0	4
特別損失合計	707	529
税金等調整前四半期純利益	1,556	3,241
法人税等	895	1,273
少数株主損益調整前四半期純利益	660	1,968
少数株主損失（△）	△75	△10
四半期純利益	736	1,978

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	660	1,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△449	△65
繰延ヘッジ損益	19	－
為替換算調整勘定	△499	△247
その他の包括利益合計	△929	△312
四半期包括利益	△268	1,655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△193	1,665
少数株主に係る四半期包括利益	△75	△10

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,556	3,241
減価償却費	221	234
投資有価証券売却損益（△は益）	△515	－
投資有価証券評価損益（△は益）	9	20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	33	20
事業譲渡損益（△は益）	110	－
特別退職金	94	497
厚生年金基金脱退特別掛金	481	－
減損損失	4	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	66	17
売上債権の増減額（△は増加）	△236	△13,506
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,636	△2,535
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,378	7,883
その他	△232	△1,772
小計	△1,147	△5,898
利息及び配当金の受取額	37	34
利息の支払額	△132	△150
特別退職金の支払額	△91	－
法人税等の支払額	△855	△1,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,190	△7,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△202	△379
有形固定資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△15	△13
投資有価証券の売却による収入	607	－
子会社株式の取得による支出	△280	△100
定期預金の預入による支出	△660	△1,394
定期預金の払戻による収入	600	660
事業譲渡による収入	5,776	－
その他	8	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,833	△1,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△671	4,486
長期借入れによる収入	700	2,066
長期借入金の返済による支出	△1,017	△223
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△547	△549
少数株主への配当金の支払額	△11	△4
その他	△52	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,602	5,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△295	△3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,746	△2,997
現金及び現金同等物の期首残高	13,653	16,765
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	－	△390
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,399	13,377

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	半導体及び電子部品	電子機器	システム機器	計
売上高				
外部顧客への売上高	130,365	7,456	923	138,745
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	130,365	7,456	923	138,745
セグメント利益又は損失（△）	3,051	△64	62	3,049

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,049
全社費用（注）	△867
四半期連結損益計算書の営業利益	2,182

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	半導体及び電子部品	電子機器	システム機器	計
売上高				
外部顧客への売上高	136,485	7,268	1,019	144,772
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	136,485	7,268	1,019	144,772
セグメント利益	5,037	95	118	5,252

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	5,252
全社費用（注）	△880
四半期連結損益計算書の営業利益	4,371

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。